



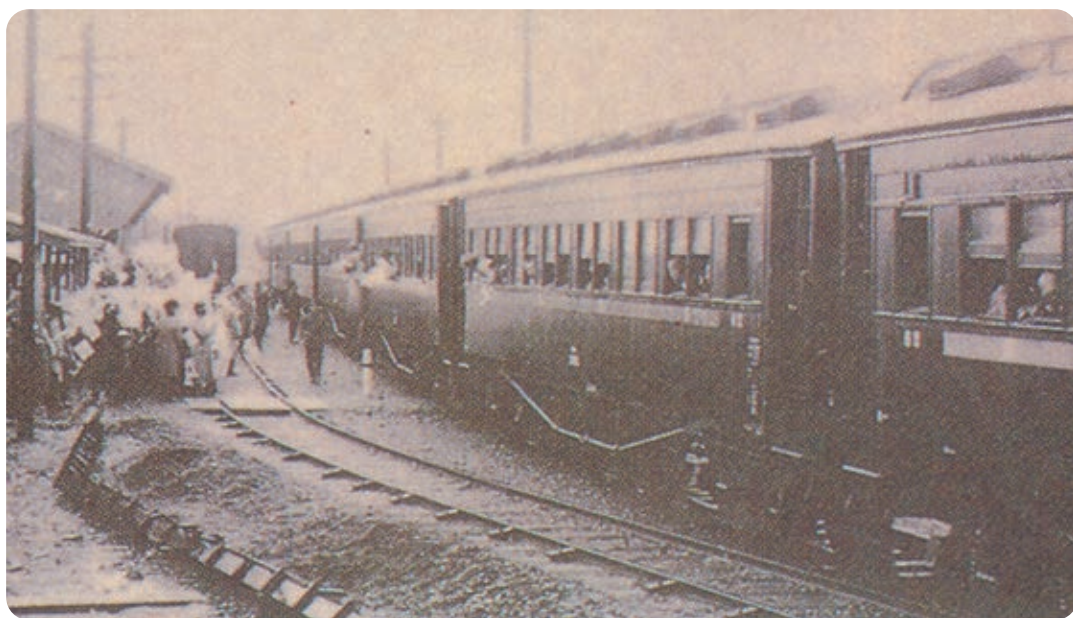
開町140周年を記念するお祝いの会

1 交通や産業の歴史

明治14（1881）年樺戸集治監がつくられ、月形村が生まれてから、およそ140年以上になります。

月形町は、北海道でも歴史の古い町として知られ、町では、令和2（2020）年に開町140周年を迎え、令和5（2023）年に町制70年の記念式典をもよおし、町民みんなでお祝いをしました。

わたしたちは、月形町の歴史をふりかえって、交通や産業などが、どのようにうつりかわってきたかを調べてみました。



むかしの列車

交通のうつりかわり

月形には、^{はじ}初めに^{かんごく}監獄の人たちが入り、その後たくさんの商人や農家の人たちがうつり住むようになりました。

^{しゅうじん}囚人たちの^{くろう}苦勞でつくられた農地や道路は、その後^{せいび}に整備されていきました。

道路がなかったころは、^{さっぽろほうめん}札幌方面との行き来と、物を運ぶために、^{いしかりがわ}石狩川に汽船が通っていました。そのうちにバス会社ができ、^{いわみざわ}岩見沢や^{びばい}美唄との間にバスが通るようになりました。

^{しょうわ}昭和10（1935）年には、^{さっしょうせん}札沼線ができて^{さっぽろ}札幌まで汽車が走るようになりました。月形村の^{かいがなおつね}海賀直常が会長となり、^{いしかりがわ}石狩川^う右岸^う鉄道^う速成^う同盟会^うをつくって、^{せいふ}政府にはたらき

かけたのが大正元（1912）年、完成するまでに20年
以上の年月がかかりました。

峰延道路（樺戸道路）では、石狩川をわたるのに、長い間
渡し船が使われていました。兩岸をワイヤーでおすび、渡し
守が船をあやつって客を運びました。冬は、手しば（注1 P
123）と、自然にはる氷を利用した氷橋をつくってわたりま
した。冬はいつでもわたれるので氷橋のほうが便利でした。

冬の初めや雪どけのころは、ケーブル線をはり、かご渡し
という仕方でわたったそうです。やっと月形橋ができたの
は、昭和23（1948）年です。長さ140mの木のつり
橋で、そのころでは、日本一の大きさでした。

今の月形大橋は、石狩川の切りかえ工事のできた大曲新
水路にかけられた橋です。



外りん船（上川丸）

昭和26(1951)年からの工事で、昭和30(1955)年に完成し、昭和42(1967)年からの2回目の工事で、現在のようにになりました。全長は813mです。

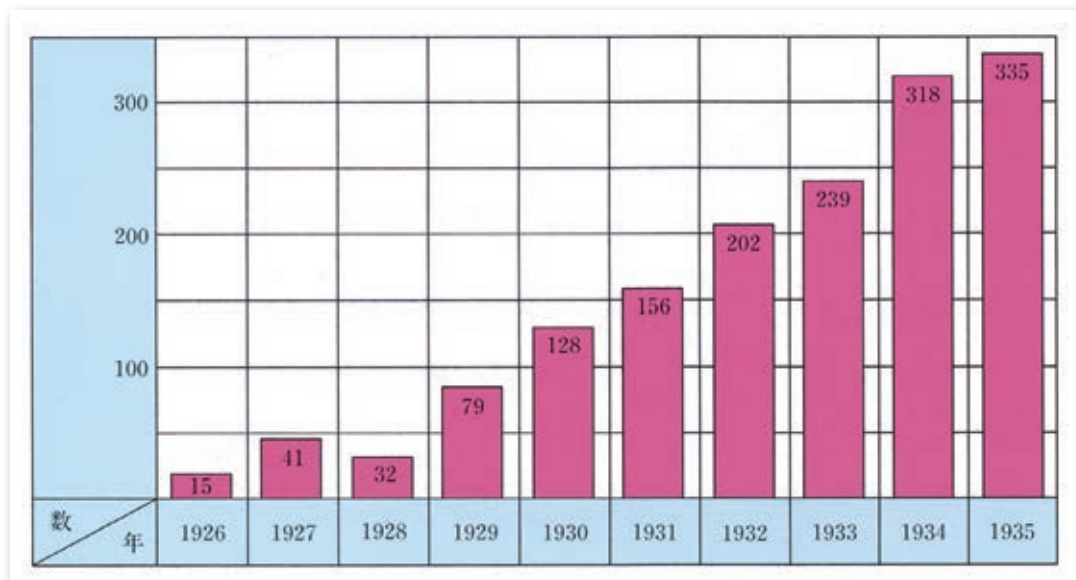
長い間、人々の足をとめていた石狩川も、これで楽にわたれるようになりました。

産業のうつりかわり

囚人たちによって、ひらかれていった農地の一部は、北越植民社にはらい下げられました。

北越植民社は笠原文平が代表者になり、新潟県から引っこししてきた、80戸の農家の人たちでつくられ、初めは知来乙の開拓が進められました。

北農場は、土田政次郎がはらい下げをうけて、それを農家



北海道でおきた小作そうぎの数



たんこうせんたんじょう
月形炭砒選炭場

の人にかして開拓を進めていったのでした。その間に、土地を借りていた農家（小作人）の人たちは、小作料が高すぎるなどから、地主たちとの間に、はげしい小作そうぎがおこりました。

そのころ、月形では10aから5俵（300kg）ぐらいの米がとれましたが、そのうち2俵（120kg）は小作料として地主におさめなければなりませんでした。

とれた米の半分ちかくを、小作料としてもっていかれては、生きていけません。小作人たちがみんなでがんばり、小作料は1.5俵（90kg）にへらすことができ、小作そうぎは終わりました。

第2次世界大戦が終わったあと、借りていた土地は、そのままつくっていた農家のものになりました。

また、サハリン（樺太）^{からふと}などから引きあげてきた人や、都市から引っこしてきた人たちによって、篠津原野^{しのつけんや}や豊ヶ丘^{とよがおか}の開拓^{かいたく}が進められ、昭栄地区^{しょうえい}には小学校もできました。

月形には、今の月形ダムのおくの方に炭鉱^{たんこう}もあって、そこには紅葉谷^{もみじだに}小中学校がありました。多い時は、月に10,000^{トン}もほり出すほどでしたが、昭和38^{しょうわ}（1963）年に閉山^{へいざん}になりました。

今の麻生^{あさぶ}には亜麻工場^{あまこうじょう}があって、明治29^{めいじ}（1896）年から約70年間、テントや運動ぐつの原料^{げんりょう}をつくっていましたが、昭和40^{しょうわ}（1965）年にやめてしまいました。

コンクリートでできた高いえんとつが、遠くからも見えたそうです。

また、大正14^{たいしょう}（1925）年には、乳業工場^{にゅうぎょうこうじょう}がつくられて、



あまこうじょう
亜麻工場

ゆきじるしにゅうぎょう
雪印乳業の工場



らく農業もさかんになり、この工場^{こうじょう}では、バターやチーズをつ
くっていましたが、昭和^{しやうわ}39（1964）年になりました。

赤川には、月形農材工場^{のうざいこうじょう}といって暗きよ（田畑の排水^{はいすい}をよ
くする）に使う土管^{どかん}をつくっている工場^{こうじょう}がありましたが、今
は、泥炭^{でいたん}をもとに、ピートモス（肥料^{ひりょう}、苗^{なえ}を育てる土）をつ
くる工場^{こうじょう}にかわっています。

学校のうつりかわり

月形町には、空知で一番古くからあって、令和^{れいわ}4（2022）
年に開校140年をむかえた月形小学校をはじめ、月形中学
校、月形高等学校など、現在^{げんざい}3つの学校があります。

昔は、このほかにもいくつかの学校がありました。

紅葉谷^{もみじだに}小中学校は、炭鉱^{たんこう}のあった紅葉山^{もみじやま}にありましたが、



月形中学校



なかの
中野小学校（昭和40年ころ）

たんこう へいざん
炭鉱の閉山とともになくなりました。

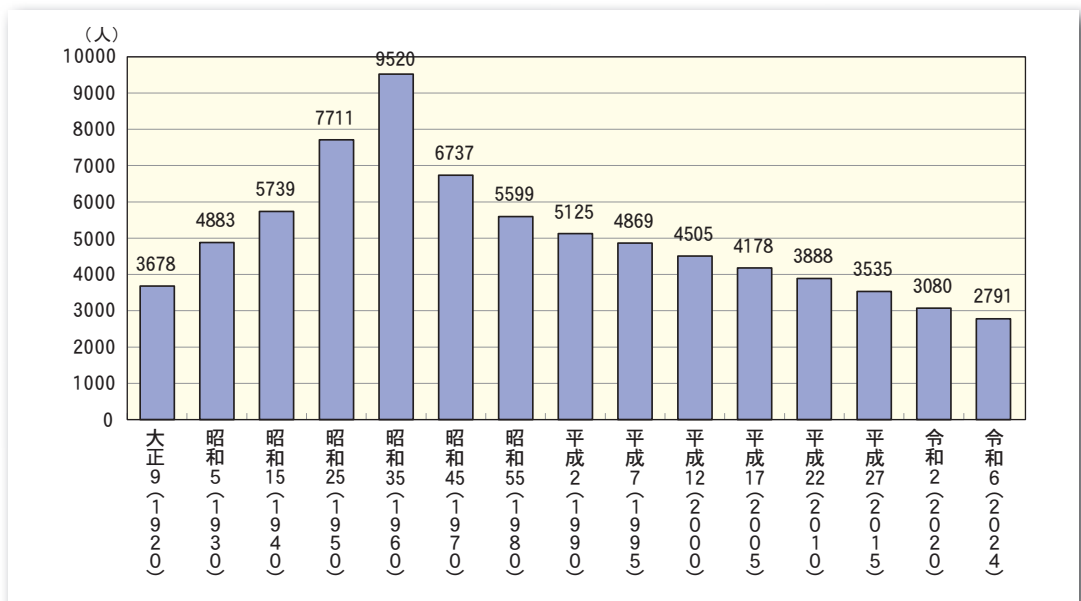
昔は、月形と陸続きになっていましたが、石狩川の切りかえ工事で、川向こうにはなれてしまった雁里にも、雁里小学校がありました。しかし、児童数がへってきたのでなくなりました。なかの
中野小学校も、住んでいた人が市街地にうつったために、児童数がへってきて、しょうわ
昭和49（1974）年に、閉校になりました。また、へいせい
平成12（2000）年には、さっぴ
札比内中学校が月形中学校に統合されました。

平成16（2004）年には、しょうえい
昭栄小学校が、平成18（2006）年には、ちゅうわ
中和小学校とちらいおつ
知来乙小学校が、そして、平成24（2012）年には、札比内小学校が月形小学校に統合されました。

じんこう 人口のうつりかわり

100年以上前、北海道が開拓され始めたころの月形は、樺戸監獄ができて、空知・上川地方の政治、産業、文化などの中心でした。

開拓がすすむにつれて、だんだんと人口もふえ、特に第2次世界大戦の後、炭鉱や大きな工場がつくられ、昭和30年代には、9,000人以上の人が住んでいました。しかし、その炭鉱や工場もやがてなくなったので、人口がどんどんへり、農家の数もへるなどして、今では2,500人くらいになってしまいました。



月形町の人口のうつりかわり

(注1) 手しば 石狩川の川ふちにやなぎの木がはえていて、その枝を1m～1m50cmほどに切り、横にひいてこおらせたもの。強い氷をつくるためのささえにした。

② これからの月形町

わたしたちは、これまで「町の暮らし」や「町のうつりかわり」について調べ、たくさんの人からお話を聞きました。月形町は、空知の中でいちばん早く開けた歴史ある町で、令和12（2030）年に、開町150年をおかえます。昔の月形は、そのころの札幌にも負けないくらい、にぎやかだったそうです。太平洋戦争のあと、月形町にも大ぜいの人が集まるようになり、人口も9,000人以上になりました。本町通りには店がたくさんあり、農家の数も今の2倍くらいありました。小学校では、1学年3クラスもあったそうです。



かいらく
皆楽公園



米づくり



花づくり



メロンづくり

その後、炭鉱の閉山や工場の閉さなどでそこで働いていた人たちが、他のまちに移ったり、若い人たちも仕事を求めて、都会へ出て行くなどしたため、人口がだんだんへってきました。

町では、これらのことを心配して、新しい施設をうちするなどして、活気のある町にしようと考えました。

国などに働きかけて、月形学園（少年の更生をめざす施設である少年院・令和2年閉庁）や月形刑務所ができました。しょく員と家族の方が引っこしてきて、人口もふえました。

月形のいちばん中心になる産業は農業です。昔は、米づくりが中心でしたが、近ごろでは、米づくりだけで生活することがむずかしくなりました。そこで、米のほかにメロン・スイカなどの果菜や花づくりに力をいれています。中でも、花とメロンは本州方面にも送られ、全国的にも有名になりました。



たくさんの花が植えられた月形小学校前の歩道

した。

わたしたちは、これからの月形町がいっそう住みやすい町になることを願いました。そして、町長さんがどのような町にしていこうと考えていらっしゃるのかをうかがいにいきました。

町長さんは、「みんなが安心して、豊かにくらするあたたかい町になるよう^{どりよく}努力していきます。」そして、わたしたちに、「いろんなことにちょうせんし、これからの月形町を^{せお}背負う人になってほしい。」とおっしゃいました。

また、これからもっと月形町が^{はってん}発展するために、町全体の^{そうごうしんこうけいかく}総合振興計画をたてて、「みんなでつくる未来 共に歩むまちづくり」をテーマに次のことがらを中心に仕事を進めています。

- みんなが元気にくらせるように、健康や介護、スポーツなどに力を入れていきます。
- 農業や観光をさかんにして、みんなが働ける元気な町をつくりま^{はたら}す。
- みんなの命やくらしを守るため、防災や安全対策を進めます。
- 子どもが元気に育つように、みんなで子育てや教育を応援します。
- ずっと住みたくなる町にするために、くらしやすい環^{かん}境をととのえます。

「こうした仕事をするためには、たくさんのお金が必要です。町民のみなさんが、町・道・国におさめたぜい金が、これらの費用^{ひよう}にあてられます。きびしい財政^{ざいせい}の中、町では少しでもぜい金をむだづかいをしないよう努力^{どりよく}しています。」



小学生と高齢者のふれ合い



こうほうし
町の広報紙

このように、町長さんはこれからの町づくりについてくわしく説明してくださいました。

「素晴らしい子どもがいっぱいいることが月

形町のほこりです。みなさんも月形町をどんな町にしたいか、よい考えや希望^{きぼう}があれば、聞かせてください。建物や道路^{たても}づくりだけでなく、高齢者の健康づくりや子どもたちの学校をよくして、みんなが安心してくらせるような、よい町づくりに努力します。」と話されました。

最後に、町の広報紙^{こうほうし}『花の里つきがた』について、「町の行事の案内や検診のお知らせなど、役場のいろいろな係の人が、町民にお知らせしたいと思うことをのせています。子どもにも読みやすいものにしたいです。」と話されました。わたしたちは、広報紙を読んで、月形のことについてもっと調べてみようと思いました。

町長さんのお話を聞いて、わたしたちも『よい町づくり』のため、自分たちができることに協力し、町の発展につくしたいと思いました。

③ 月形しぜんの自然

西側にしがわに山々が連なりつら、東側ひしがわに石狩川いしかりがわが流れる月形しぜんは、自然がゆたかで、動物や植物が、とても多く見られます。

木や草は、およそ350種類しゅるい、キツネやへビ、虫などの動物は、およそ380種類しゅるいになります。

次のページから、月形のすばらしい自然しぜんを説明せつめいします。今まで学習した、人々のくらしとあわせて、郷土きょうどのよさについて考えてみましょう。



月形町かばとれんざんと樺戸連山



つきがうみ
月ヶ湖



(1) つきがうみ しぜん 月ヶ湖の自然

つきがうみ
月ヶ湖は、しつげん（大昔、いしかりがわ
石狩川があふれた所にたくさん
の草がしげり、それが積もってできた土地）にできた沼で、
おおぬま こぬま
大沼・小沼の2つからなります。

ぬま
沼を見ると、水から顔を出した、黄色の花がさいているこ
とがあります。

これは、コウホネといって、水の中で育つ草です。

月形町は、かばとぐん
樺戸郡という地方の1つの町ですが、かばと
樺戸とい
うのは、アイヌ語のカパトからきたと言われてい
ます。この
カパトというのが、実はコウホネのことなのです。

このほか、テンナンショウとか、キツリフネなど変わった形の草花も見ることができます。

また、カイツブリというカモの仲間なかまの鳥がいて、季節きせつによっては、そのヒナも見られるほか、ウグイスやカッコウのように、だれでも知っている鳥がいたり、ヤマセミ、カワセミ、アカショウビンなど、都会ではなかなか見られない鳥も、そのすがたを見せることがあります。

小沼こぬまでは、ハクチョウを見ることができます。月ヶ湖の近くの田んぼにも、えさをついばんでいるハクチョウが多く見られます。

東側ひがしがわの岸には、フデリンドウやショウジョウバカマといった、しめった土地に生える草や、虫を食べるモウセンゴケといった、めずらしい草も生えています。



コウホネ



キツリフネ



ミスバショウ



ハクチョウ



フデリンドウ

つきがうみ
月ヶ湖のすぐ近くには、ふじ その
雪の聖母園せいぼえんがあります。
その周りまわのきれいな水が流れている所には、春になると、ミ
ズバショウがたくさんさきます。

きれいなミスバショウは、札比内地区の国道ぞいや道民の森に行くときにも多く見られます。

エゾノリュウキンカ（やちぶき）もさきますが、これらの花は、水がきれいでなければ育ちません。

このことは、自然しぜんが大切にされているしょうこにもなります。



エゾノリュウキンカ



すぎ林



(2) まるやま 円山 しぜん の自然

上の右の写真は、まるやま 円山公園にあるすぎ林です。このすぎ林は、今から140年ほど前にかばと かんごく 樺戸監獄の囚人たちによって植えられたもので、寒い北海道では大変めずらしい木のため、がくじゅつさんこうりん 学術参考林にもなっています。

そのほかに、およそ70種類しゅるいもの木があって、秋になると、木の葉が色づきとてもきれいです。

南側みなみがわには、植樹景觀施設しょくじゅけいかんしせつがあって、町の人たちが、記念きねんの木を植えて、緑をふやしています。ここでは、エゾリスのかわいいすがたを見かけることもあります。

歴代典獄れきだいてんごくの碑ひがある辺りあたには、たくさんのさくらの木があります。(下の写真は、札比内神社さっびないじんじゃのさくらです。)

6月ごろには、せの低いひくノリウツギの花もさきます。この花に、アゲハチョウが飛んできます。

たくさんの木が生えている円山まるやまでは、日かげになる所が多くあり、このことから、そこには、日かげで育つ草花が見られます。



さくらさっびないじんじゃ
(札比内神社)




サルメンエビネ

オオバナノエンレイソウ

つりを楽しむ人たち

上の写真は、サルメンエビネというランのなかまと、エンレイソウという花です。

そのほかにも、日なたでは見られない草花が多くあります。

 (3) かいらくこうえん 皆楽公園の自然 しぜん

右上の写真は、かいらくこうえん 皆楽公園でつりを楽しむ人たちの風景です。
このかいらくこうえん 皆楽公園は、その昔、いしかりがわ 石狩川だった所です。曲がりくねっていた川を、今の川のように切りかえたために、とり残されのこてできた沼ぬまです。

ここには、ヘラブナという魚がいて、年中つりを楽しむ人



ハナショウブ



エゾエンゴサク

のすがたが見られます。

7月ごろには、沼^{ぬま}の周^{まわ}りに、ハナショウブという、むらさき色の花がさきます。夕日^{ゆづ}が沼^{ぬま}にうつって、水面がキラキラかがやいている時、オレンジ色とむらさき色の花がきそってさいている様子は、とてもきれいなものです。

このほかに、沼^{ぬま}の周^{まわ}りには、アブラナやシバザクラなどが植えられています。

自然^{しぜん}のものも、多く残^{のこ}っていて、季節^{きせつ}ごとにいろいろな花がさきます。

エゾエンゴサクやニリンソウは、春に、かたまってさいているので、よく目立ちます。

夏には、ヒメジョオンやタンポポモドキ、オオウバユリ、秋には、アワダチソウやオオハンゴンソウなど、せの高い草

が花をつけます。それらにさそわれて、いろいろな虫や鳥も集まってきます。

今まで学んできたように、わたしたちが住む月形の町は、とても自然しぜんにめぐまれています。月形をおとずれる人は、浦うら白うすの方から来ても、当別とうべつの方から来ても、どちらも緑のゆたかさに気がつくことでしょう。

あなたの周りまわには、かけがえのない美しい自然しぜんがあります。これからも、みんなで自然しぜんを守り続けましょう。



月形町の自然しぜんに親しむ人たち

月形町の主なできごと

年代	時代	日本や北海道の主なできごと	月形町のできごと
1870	明	1 <small>めいじ いしん せいじ</small> 明治維新の新しい政治が始まる	
		10 <small>せいなん えき お</small> 西南の役が起る	
1880	明		13 <small>かんごく すべつ お</small> 監獄を須部都太に置くことが決まる
			14 <small>そらち いちばん むら</small> 空知で一番目の村として月形村が誕生する
1890	明	15 <small>かいたくし はこだて ねむろ さっぽろ</small> 開拓使をやめ、函館、根室、札幌の3県にする	15 <small>かばと かんごく ひら</small> 樺戸監獄が開かれる
			16 <small>つきがたしょうがっこう</small> 月形簡易教育所ができる(月形小学校のおこり)
1890	明	19 <small>けん はいし ほっかいどうちやう お</small> 3県を廃止し、北海道庁が置かれる	16 <small>そんりつ つきがたしょうがっこう</small> 村立月形小学校となる
			17 <small>しやうじん どうべつどうろ つく</small> 囚人が当別道路を造る
1890	明	22 <small>めいじ けんぽう ほっふ</small> 明治憲法が公布される	17 <small>つきがたしょうがっこう げんざい ち</small> 月形小学校が現在地に移る
			19 <small>かんごく いね つく</small> 監獄で稲を作る
1890	明	27 <small>にっしんせんそう</small> 日清戦争がはじまる	20 <small>しやうじん みねのぶどうろ つく</small> 囚人が峰延道路を造る
		28 <small>にっしんせんそう お</small> 日清戦争が終わる	20 <small>かんごく ようち いちぶ ほくそつしやくみんしゃ はら き</small> 監獄で用地の一部を北越植民社に払い下げる
1900	治		22 <small>いしかりかわ きせんがいしゃ</small> 石狩川汽船会社ができる
			24 <small>ちらいおつ つきがたしょうがっこうぶんぎやうしつ</small> 知来乙に月形小学校分教室ができる(知来乙小学校のおこり)
1900	治		29 <small>あま がいしゃ こうじやう</small> 亜麻会社の工場ができる
			30 <small>かれ き いま かりさと かん いきやういくじよ</small> 枯木(今の雁里)に簡易教育所ができる(雁里小学校のおこり)
1900	治		31 <small>いしかりがわ だいこうすい</small> 石狩川が大洪水となる
			34 <small>つきがた し がい だい か さい ほっせい</small> 月形市街で大火災が発生する
1910	治		35 <small>いしかりがわ だいこうすい のうさくもつ ぜんめつ</small> 石狩川が大洪水となり、農作物が全滅する
			35 <small>しんでんかん いきやういくじよ</small> 新田簡易教育所ができる
1910	治	37 <small>にちろ せんそう</small> 日露戦争がはじまる	35 <small>なかの のうじやう しりつきやういくじよ</small> 中野農場に私立教育所ができる(中野小学校のおこり)
		38 <small>にちろ せんそう お</small> 日露戦争が終わる	41 <small>かれ き ちらいおつ しんでん かくかん いきやういくじよ きやういくじよ</small> 枯木・知来乙・新田の各簡易教育所を教育所とする

年代	時代	日本や北海道の主なできごと	月形町のできごと
	明治		44 あっかるうすないとくべつぶんきょうじょ 厚軽臼内特別分教所ができる（札比内小学校のおこり） でんわ 電話が通じる
1920	大正	3 だい じ せ かい たい せん 第1次世界大戦がはじまる	6 つきがた ちらいおつ しんでん なかの のうじょう かくきょういくじょ あっ 月形・知来乙・新田・中野農場の各教育所と厚 かるうすないとくべつぶんきょうじょ じんじょうしやうがっこう よ 軽臼内特別分教場を尋常小学校と呼ぶ 7 しんでんじんじょうしやうがっこう ちやう わ じんじょうしやうがっこう よ 新田尋常小学校を中和尋常小学校と呼ぶ
		7 だい じ せ かい たい せん お 第1次世界大戦が終わる ふけい き 不景気がはじまる	7
		12 かんとうだいしんさい お 関東大震災が起きる	11 さつ び ないじんじょうしやうがっこう かいこうしき おこな 札比内尋常小学校の開校式が行われる 15 ぎゅうにゅうこうじょう 牛乳工場ができる みねのぶ 剣道 とお 峰延との間にバスが通る
1930		6 まんしやうじへん お 満州事変が起こる	6 なかの のうじょうじんじょうしやうがっこう なかの じんじょうしやうがっこう よ 中野農場尋常小学校を中野尋常小学校と呼ぶ 7 しがい すいどう つく 市街に水道が作られる 8 いしかりがわ たいこうすい 石狩川が大洪水となる 10 さつしやうせん 札沼線ができる
1940	昭和	12 にっちやうせんそう 日中戦争がはじまる (第2次世界大戦)	15 かいぞん しやうねん 開村60周年
		16 たいへいしやうせんそう 太平洋戦争がはじまる	19 のうざいこうぎやうつきがたこうじやう 農材工業月形工場ができる
		20 ひろしま ながさき げん し ぼくだん お 広島、長崎に原子爆弾が落とされ る たいへいしやうせんそう お 太平洋戦争が終わる	21 いしかりたんどう せきたん さいくつ がいし 石狩炭鉱(株)が石炭の採掘を開始する 22 つきがた さつ び ないちやうがっこう 月形・札比内中学校ができる 23 つきがたむらのうまうまうどうくみあい 月形村農業協同組合ができる つきがたばし つく 月形橋が作られる 24 こく ぼ つきがたそんりつひやういん かいいん 国保月形村立病院が開院する
1950	和	25 ちやうせんせんそう お 朝鮮戦争が起こる	25 つきがたこうとうがっこう 月形高等学校ができる かい き しやうねん 開基70周年
26 みるかんこうくう さいかい とうきやう さつぽろ 民間航空が再開(東京～札幌)する		26 つきがたしやうがっこうつきはまぶんどう しょうえいしやうがっこう 月形小学校月浜分校ができる（昭栄小学校のお こり さらに月形小学校篠津分校とよぶ） ちやうおう つきがた び ばいかん うんどう がいし 中央バス 月形・美唄間が運行を開始する 27 つきがたむらむらういん かい 月形村教育委員会ができる 28 つきがたむら つきがたしやう 月形村が月形町になる	
		27 と かちおき じ しん はっせい 十勝沖地震が発生する	

年代	時代	日本や北海道の主なできごと	月形町のできごと
1960	昭	29 台風15号（洞爺丸台風）で全道に大きな被害がでる	29 台風15号（洞爺丸台風）で大きな被害をうける つきがたしやがっこうもみじだにぶんごうもみじだにしょうがっこう 月形小学校紅葉谷分校が紅葉谷小学校になる
		31 札幌線が全線開通する 日本が国連に加盟する	30 月形大橋が完成する つきがたおおたによろちえんかいせつ 月形大谷幼稚園が開設する つきがたしやがっこうもみじだにぶんごうもみじだにしょうがっこう 月形小学校紅葉谷分校が紅葉谷小中学校となる
		34 札幌～旭川・帯広即時通話開始	31 月形小学校篠津分校が独立して昭栄小学校となる
		36 函館～旭川間ディーゼル特急「おぞら」が走る	35 開基80周年
		37 十勝岳が噴火する	38 紅葉谷小中学校が閉校する しのつうんがとうしゆごうかんせい 篠津運河頭首工が完成する
		39 東京オリンピックが開催される	39 カルメル修道院が完成する しやうどういんかんせい 雪の聖母園が開設する
		43 北海道百年記念事業の実施	43 かりさとしやがっこうはいごう 雁里小学校が廃校になる
		44 滝川～旭川間のディーゼル車が電化になる	さつびないかんせい 札幌比内プールが完成する
		46 札幌に地下鉄ができる	44 つきがたちやふくし 月形町福祉センターが完成する
		47 札幌冬季オリンピックが開催される	しやうちやがっこうきやうしやくかいし 小中学校でミルク給食が開始される
1970	和	50 台風6号による洪水で全道に大きな被害が出る	45 開基90周年 ようごろうじんふじそのかいえん 養護老人ホーム藤の園が開園する
		51 有珠山が噴火する	46 すべつぼし 須部都橋が完成する
		52 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	47 やくばちやうしやくかんせい 役場庁舎が完成する
		53 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	48 いわみさわちくしやうほうしむくみあい 岩見沢地区消防事務組合ができる
		54 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	49 つきがたしやうねんいん 月形少年院が開院する
		55 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	50 なかのしやがっこうはいごう 中野小学校が廃校になる
		56 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	51 つきしんすいどうきまようだん 月新水道企業団が開業する
		57 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	52 たいふうごう 台風6号による洪水で大きな被害を受ける
		58 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	53 そうごうたいいくかんおんすい 総合体育館（温水プール・柔剣道場）ができる
		59 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	54 つきがたしやうねんごう 月形ダム竣工
1980		59 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	55 つきがたちやうがっこう 月形中学校の校舎と体育館が完成する
		60 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	つきうみこてい 月ヶ湖の湖底からアイヌが作った丸木船が発見される
61 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	53 つきがたしやうごうかいがん 月形商工会館ができる		
62 成田空港（新東京国際空港）が開港する 日中平和条約が調印される	かいきねんきねんしきてんおご 開基100周年記念式典が行われる		